

教育事業名	平成 28 年度 国立室戸青少年自然の家教育事業 <b>体験！発見！ジオパーク</b>		
事業の趣旨	室戸世界ジオパークの地質や地形、自然を生かした室戸の人々の営みを知ることで、ジオパークの自然に興味関心を高めるとともに、自然の偉大さと人間に与える恵みの大きさを体感することをねらいとする。		
対象者	小学生（4・5・6年）		
実施期間	平成 28 年 10 月 8 日（土）～平成 28 年 10 月 10 日（月）2泊3日		
参加者 （人数／定員）	34 名／36 名		
活動プログラム	10 月 8 日（土）	10 月 9 日（日）	10 月 10 日（月）
	9:30 はりまや橋観光バスターミナル発 （安芸駅で休憩） 11:50 海の駅「とろむ」着 12:00 受付、昼食 12:30 開講式、仲間作り 13:00 クルージング 14:25 ジオパークセンター見学 15:15 ジオパークセンター発 15:45 自然の家着 オリエンテーション 17:30 タベのつどい 17:45 夕食 19:15 入浴 20:15 星空観察 21:00 班会 22:00 就寝	6:00 起床、洗面 7:15 朝のつどい 7:30 朝食 9:00 芋ほり 10:30 焼き芋作り 12:00 昼食（弁当と焼き芋） 13:00 自然の家発 13:30 海浜センター着 13:40 磯探検 16:15 海浜センター発 16:45 自然の家着 17:30 タベのつどい 17:45 夕食 19:00 釣りの仕掛け作り 20:00 入浴 21:00 班会 22:00 就寝	6:00 起床、洗面、清掃 退所点検 7:15 朝のつどい 7:30 朝食 8:30 自然の家発 9:00 とろむ着 釣り活動 11:20 後片付け、移動 11:50 昼食、ふりかえり 13:00 閉講式 13:15 海浜センター発 （安芸駅で休憩） 15:45 はりまや橋観光バスターミナル着
活動の様子	10 月 8 日土曜日（1 日目）		
	<p>4 年生 16 人、5 年生 9 人、6 年生 9 人の参加者で教育事業「体験！発見！ジオパーク」はスタートした。最初の活動はジオパーク推進協議会地理専門員の中村有吾氏による室戸岬ミニクルージングだった。室戸岬までの往復 1 時間のクルージングで、室戸ならではの地形である海成段丘や室戸岬灯台、明日の活動のヒントとなる火成岩についての説明を聞いた。波が高く船酔いをする参加者もいたが、海から見る室戸岬の雄大さに感動していたようだ。クルージングの後は室戸世界ジオパークセンターを見学し、ジオパークの楽しみ方について学んだ。</p> <p>夜は、曇り空で星空観察はできなかったため、2 日目の夜の活動の準備としてロープワークを実施した。ロープやテグスを使って 8 の字結びの技能を習得した。明日の仕掛け作りが楽しみと話している参加者もいた。</p>		
10 月 9 日日曜日（2 日目）			
<p>2 日目の朝は雨が降り、予定の時間を遅らせて芋掘りを実施した。昨日のクルージングでの解説を想起させ、崎山台地は 16 万年前、海岸だったことを説明した後、川上農園の芋畑で芋掘りをした。1 株にたくさんのサツマイモがなっているのを見て、「すごい」と感嘆の声を上げている参加者もいた。掘った芋で焼き芋をし、台地の恵みを味わった。</p>			
			

午後は坂本海岸へと移動し、磯探検を実施した。海浜センターからコース図を頼りに磯を歩き、室戸岬へと歩いた。室戸台風の高潮襲来の石碑に関する質問やネイチャーゲーム、磯の生物観察、50gの石拾い等の課題を解いていった。磯の生き物を箱メガネで一瞬懸命探したり、拾った石が50gを班で悩みながら探したりして磯探検を楽しんだ。50gぴったりの石とわかった瞬間、班で大きな歓声が上がった。



夜の活動は3日目に予定されている釣り活動の仕掛けづくりをした。前日学習した8の字結びを使って仕掛けを完成させた。完成した仕掛けを見ながら明日を楽しみにしている参加者もいた。  
10月10日月曜日（3日目）

最終日は漁業の疑似体験として、釣り活動を行った。釣り方やえさの付け方、触ると危険な魚等の説明の後、それぞれが作った仕掛けを使って釣りを楽しんだ。室戸岬新港は風が強く、仕掛けを絡ませてしまうことがあったが、法人ボランティアに助けられ、参加者は釣りに熱中することができた。オヤビッチャやイスズミ、カゴカキダイ、キタマクラ等の魚が釣れた。1匹もつれなかった参加者もいたが、釣りをしたことに満足していた。法人ボランティアや班の友だちと助け合いながら楽しく過ごした3日間だった。疲れた中にも満足感が感じられる参加者の表情が印象に残った。ジオパークの魅力と偉大さを体感した事業だった。



#### 事業の成果

- ・ジオパーク推進協議会専門員や川上農園の協力によりジオパークの地形や自然を生かした人々の営みを学ぶことができた。
- ・クルージングや磯探検、釣りを通して、自然の中にかくれた様々な形や模様に興味を持つ機会が得られ、自然についてより関心を高めることができた。
- ・班活動を通して、協力することや友達を大切にする姿勢が見られた。

#### 事業の課題

- ・この時期には日本ジオパーク全国大会があり、ジオパーク推進協議会の専門員は初日の参加のみだった。実施時期を再検討する必要がある。
- ・仲間にとけこむために時間が必要な参加者もいたため、アイスブレイク等の時間を確保し、仲間づくりの充実を図る必要があった。
- ・この時期は室戸の神祭に当たる。室戸の文化についての理解を深めるためにも神祭を活動プログラムに組み入れていくことを検討したい。

#### 参加者の感想

- ・初めてクルージングを体験しました。波があつてサーフィンみたいにゆらゆらしていました。楽しかったけど酔いかけました。遠くを見ていると元気になり楽しくなってきました。
- ・2日目に磯探検がありました。50gの石を見つける問題で、2つの石のどちらかを決めました。多数決で選ばれた石をはかりにのせてみると50gぴったりでした。僕はガッツポーズをしました。
- ・農園でサツマイモ掘りをしました。私は「どうせあんまり取れないだろう。」と思っていたけど、やってみるとサツマイモが大きくていくら掘っても取れませんでした。私が予想した以上に取れました。
- ・釣れた時は「え？」と思いました。魚を針から外すときに魚が暴れてしまってびっくりしたので放り出しそうになりました。釣れてとてもうれしかったです。
- ・友達と仲良くするのもいいけど、全く知らない人と仲良くなり友達になるのはいいことだなと思いました。たくさんの体験！発見！がありました。